

大会主題・趣旨説明

若林 晋 研修部長

北海道小学校長会研修部長の若林でございます。

ただ今より、大会主題・趣旨について説明申し上げます。

全国連合小学校長会は、真摯に研究と実践を積み重ね、我が国の小学校教育の充実・発展と教育諸条件の整備に多くの成果を収めてきました。その成果を踏まえ、令和2年度から研究主題を「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」とし、取組を進めているところであります。

この研究主題の実現と追究を目指すため、第65回北海道小学校長会教育研究旭川大会は、これまでの研究の成果と課題を踏まえ、副主題を「ふるさとに誇りと愛着をもち ともに未来社会の創造に挑戦する子どもを育てる学校経営の推進」と設定し、学校経営の責任者である校長の果たすべき役割と指導性を究明しようとするものであります。

北の大地「北海道」は、その厳しい寒さゆえに、開拓時代、多くの人々に困難をもたらしました。しかし今では、冷涼な気候を利用して安全・安心な食材を豊富に産出する日本最大の食糧基地となり、雪を活用した観光やスポーツが大きな魅力となっています。先人たちの知恵と工夫と挑戦が、この厳しい自然環境を克服し、現代に恩恵をもたらしているのです。

本大会の副主題には、豊かではあるが厳しい自然を乗り越え、人との絆を大切にしながら、脈々と人の営みを紡いできた先人たちから、地域に根ざした文化や歴史などを学び、さらにそこから、自ら未来を切り拓き、自分の夢や目標の実現を目指す人材を育みたいという思いが込められています。

これからの社会は、自立した個人が個性・能力を生かし、相手の価値を尊重し、多様な人々との協働を通じ新たな価値を創造していくことができる柔軟な社会の実現が求められます。

こうした新しい社会の形成に向けてたくましく挑戦する子どもを育てるためには、人と人との絆を強め、支え合う共生の意識や夢と希望に満ちた活気溢れるふるさとづくりに積極的に貢献しようとする意識など、社会の創り手としての意識を醸成することが必要です。

また、環境・資源・エネルギー問題などに関するグローバルな視点を持ち、多様な人々と協働して、地域の環境・経済・少子高齢化・地域格差などの身近な課題についての解決策を考えようとする資質が求められます。

さらに、一人一人の個性と人と人との絆を大切にしながら、自然災害やコロナ禍などからの復興・再生に粘り強く取り組むことができるたくましさを育むことが大切となってきます。

こうした教育課題の解決や社会状況を改善していくには、子ども一人一人の能力を伸ばし、来るべき社会の担い手として必要とされる基本的な資質・能力を育む学校経営を推進していくことが必要となるのです。

本大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全体会・分科会ともに会同とオンラインを併用したハイブリッド開催となり、特に、分科会は、Zoomのブレイクアウトルームを使ってのグループ討議を行う、初めての試みとなります。

北海道小学校長会は、コロナ禍においても、一昨年のオホーツク・北見大会では誌上交流、そして、昨年の石狩・千歳大会ではライブ配信による全体会、動画配信による研究発表と誌上交流を行うことで、研究の歩みを着実に進めてまいりました。本大会におきましては、それをさらに進め、「分科会の充実こそが最大のおもてなし」の精神のもと、オンラインを活用した参画型・視覚型の分科会運営の工夫により、討議の活性化を図ります。参会者が提言をもとにオンラインを通じて話し合うことで、校長の果たすべき役割や指導性を共有し、これからの学校経営に生かすことのできる討議となるよう、充実した分科会を目指しております。

本大会が校長会各会員の叡智と鋭気が結集する大会として、分科会での更なる研究の深化・発展に向け、研究討議を深めていただき、北海道小学校教育の充実、発展に資することを目指してまいります。ご参集の皆様一人一人のお力で充実したものとなることをお願い申し上げます。大会主題・趣旨の説明いたします。

どうぞよろしくお願い申し上げます。